

地域に根ざした施設を目指す

触れ合って

絆の杜

支えあって

第31号 平成23年7月20日

発行所

社会福祉法人 光道園

鯖江 福井県鯖江市和田町9
TEL (0778) 62 - 1234 (代)
FAX (0778) 62 - 0890

朝日 福井県丹生郡越前町朝日22
TEL (0778) 34 - 1220 (代)
FAX (0778) 34 - 2099



6月9日、さくら館の日帰り旅行にて、六呂師高原へ行きました。ゲージの中に入った子牛を触っている利用者の姿です。ムツゴロウさんばりのかわいがり方でした。【ライフトレーニングセンター・療護二課】(撮影・岩永侑子)

主な内容

光道園園長挨拶…………… P2

30周年記念式典及び会食会…………… P3

一泊旅行…………… P4

やっぱり畳がいいね！…………… P4

ひろがる、つながる笑顔…………… P5

第31回越前陶芸まつりに出店しました！… P6

班活動について…………… P7

つつじマラソン劇場…………… P8

のぞみ工房 陶華星…………… P8

新任職員の紹介・感想…………… P9

クッキー工房 フ・クレール…………… P9

情報開示…………… P10,11

笑顔がいっぱい！…………… P12

(財) JKA 様による補助事業決定 …… P12



『就任ごあいさつ』

—光道園精神の継承と更なる発展に向けて—

光道園 園長 荒木博文

この度、園長を拝命し身の引き締まる思いです。光道園の伝統を継承するためにも、光道園に関わられている多くの方たちのご協力を得ながら、役員一同頑張つてまいりますので、今後ともよろしくご支援のほどお願いいたします。

まず最初に、東日本大震災のお話をさせていただきました。多くの福祉施設（特に老人福祉施設）が罹災し、利用者の方そして職員や職員のご家族も多くの亡くなりました。現在も避難所で生活されている入居者の方たちや職員も多くいます。一日も早い復旧、復興を願わずにはられません。当法人といたしましても、義援金の募集と支援物資の提供、職員の派遣などを行いました。義援金は、利用者の方、職員やOBの方など、約百七十八万円集まり、各種団体を通じ送金いたしました。支援物資は、光道園で備蓄してあります飲料水やお粥、缶詰などの非常食四百人分三食分を越前町を通じ提供いたしました。職員の派遣は、五月中旬、宮城県気仙沼市の避難所、気仙沼中学校に、特別養護老人ホームの女性介護福祉士一名を派遣いたしました。先日、全国盲人福祉施設連絡協議会の総会が大分県であり、その際津波で被災された宮城県の施設の理事長さんの報告と、福島県の避難所となっている施設の報告が、ビデオや写真を交えてありました。あまりの悲惨さに

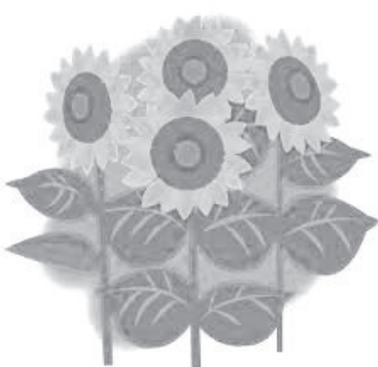
胸が詰まり涙がこぼれました。しかしながら、どんな逆境に直面しようと、そこで頑張る職員と利用者の方たちの姿がありました。その姿に人間の力の偉大さときっと立ち直れるという確信も得ました。まだまだ長期化します。今後ともその時々ニーズに応じて支援を行つてまいります。そして、光道園といたしましても地震を想定した避難訓練の実施や、ライフラインが断たれた場合や原発事故発生時の対応も検討したいと思えます。

光道園では、園訓「愛なき人生は暗黒であり汗なき社会は墮落である」を光道園精神として事業を展開しています。障がい者サービスでは、新体系に移行し、障害者支援施設としての役割は果たしつつ、施設入居者の方たちのみならず在宅の障がい者の方たちの日中活動の場の提供も行っています。今後は施設から地域へ、地域から直接施設ではなく中間的な事業や地域の中で人をつなぐコミュニティの創設など具体化したいと考えています。高齢者サービスにおいても、在宅福祉中心へとシフトする地域包括ケアシステムの実現が明確となってきたなかで、光道園として地域ごとに違うニーズの把握やシームレスな医療連携など、どのような事業展開が必要か検討をしてまいります。

そして、サービスの担い手である職員に対しては、光道園のかけがいのない人財として育成し、より質の高い専門性を目指すため、新たな研修制度を構築します。職員個々に研修目標を、経験年数、職務・職責に応じた研修計画を、組織自体を強化する研修計画と、職員個々から組織全体にわたる研修制度構築を目指します。

次にコスト削減に対する取り組みを強化します。工コ活動としての取り組みは行なっておりますが、震災以降、節電の機運が高まり、グリーンカーテン（ゴーヤ、あさがお）や無駄な電気を消す（待機電力の解消）など各施設とも具体的事項を明示し利用者の方たちの協力を得て実施を始めました。また、事務費・管理費、日用品、消耗品などの事業費も見直しし、法人全体で5%削減を目指したいと思えます。また、コスト削減に向けたアイデアも広く募集しています。

六月初旬久しぶりに障がい者施設の運動会に参加しました。応援合戦や、パン食い競争など元気一杯の姿と笑顔を見て、こちらが元気を一杯もらいました。どんな時も利用者の方、職員の近くにいたいとあらためて強く感じました。最後に、私は職員一人ひとりの力を信じ、今ベストであろう事業展開と組織作り頑張りますと宣言し就任のあいさついたします。



30周年記念式典及び会食会

光が丘ワークセンター（セルプ二課） 自治会長 西田 美矢子

6月1日、きょうは毎日作業や生活をしている施設の30周年。

この日はあいにくの天候にもかかわらず、いつもお仕事をいただいている業者の社長さんやこの施設ができた頃などにお世話になったOBの職員さんにも参加をいただき、午前中は日頃お仕事をいただいている業者さんやボランティアさんへの表彰。

また光道園園長からこの施設の思い出話。

そして10周年記念式典で埋めたタイムカプセルの開封式。

式典後、園長はじめ約100人で囲み、会食会ここでもOB職員お一人お一人から当時の懐かしい話を聞き、また当時から発足されている太鼓クラブの演奏、そして10周年記念式典で作られたビデオを鑑賞しました。

ビデオには、当時の懐かしい友人や仕事、そしていろいろな生活訓練などが映し出されていました。

言うまでもなく、30周年もの年月が過ぎると当時のことを知っている友人も数名となりました。

これからも先輩方の良い教えを残し、今以上に生活のしやすい光が丘ワークセンター目指していければと思っています。



荒木園長あいさつ



利用者代表あいさつ



ひかり太鼓の力強い演奏



タイムカプセルの開封



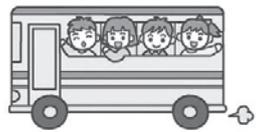
皆で万歳三唱



30年の時を経たタイムカプセルの中には懐かしい写真もありました

一泊旅行

(山代温泉&いちご狩り)



ライフトレーニングセンター

(療護二課) 吉田 茂

五月二十五日、山代温泉方面に一泊旅行に行ってきました。利用者七名、利用者ご家族四名、職員五名の計十六名の皆さんが参加されました。当日は、自称雨男と言われる課長の天気運?が嘘のようにお日様がのぞく晴れの天気でした。利用者の中に晴れ男&晴れ女がたくさんいたのかもしれないですね。旅行中は一度も雨が降る事もなく、無事に光道園まで帰る事が出来ました。



さて、旅行の方は、二十五日は、山代温泉の『瑠璃光・星の棟』という綺麗なお宿に泊りました。部屋には、マッサージ機や温泉の風呂場などがあり、とてもくつろげる大きなお部屋でした。

特にマッサージ機については、利用者のOさんが部屋についてから、真っ先にマッサージをしたい希望され、とても満足そうにマッサージを堪能されていました。

夜の会食は、大広間にテーブルと椅子を置いていただき、ゆつくりと食事をする事が出来ました。車椅子の利用者もいることもあり、宿の方で配慮して

頂きありがたく感じました。料理の方は、カニ、刺身など、たくさんの料理が出て、みなさん、満足をされていました。特にイカ墨のそうめんはとても珍しく、味もあっさりしておいしく、皆さんにとっても好評でした。おいしい食事にもみなさんの会話も弾んだ会食となりました。

二十六日は、加賀フルーツランドにいちご狩りに行ってきました。赤く実った甘くておいしいいちごをみなさん、たくさん食べられていました。中には、籠に二箱もぺろりと食べていた方もいらっしやいました。これで、いちご狩りの元は取れたかな!?



いちご狩りの後は、加賀から金沢市内の方へと移動して、昼食を頂きました。金沢市の卯辰山の麓にある六角堂という創業35年の老舗のステーキ店です。お店の店内はとても落ち着いた雰囲気があり、またシェフ自ら、目の前でステーキを焼いて下さいました。仔牛の肉という事で、とても柔らかく、今まで食べたことのないとてもおいしいお肉をお腹いっぱい頂きました。

旅行の帰りのバスの中では、もう来年の一泊旅行の話が出ていました。今度は、ちょっと遠出をして、和倉温泉がいいな!とか、たぬきの信楽はどうかな!といういろいろな旅のプランが出ていました。さて、来年の一泊旅行はどこになるのかな!?

一泊という短い旅ではありませんが、天候に恵まれ、そして何より、おいしい食事に、皆さん笑顔で、楽しい時を過ごされていました。

やっぴり畳がいいね!

ヘレンの利用者(盲聾)の方の平均年齢は五十八歳です。今年米寿を迎えられた最高齢の利用者の方から二十三歳という若い利用者の方まで幅広い年齢の利用者の方が生活されています。その利用者の方々は、一丁目リビング(ヘレンの利用者の方が、おもに生活されている場所)を中心に生活されています。リビングには、テーブルや椅子、ソファが置かれています。今ひとつ物足りなさを感じていました。それは、和の空間だったのです。食後に一服ごろんとする場所、リハビリで頑張った後にごろんとする場所、学習で頑張った後にごろんとする場所。日本人にとって気持ちがいいのは、やっぴり畳です。リビングに畳があればもっと癒されるだろうなと思っていました。それが、やっと思いが通り、今年の四月に四畳の和室スペースが出来上がりました!今まで、ベッドの上でリハビリをしていたJさんは、昔を懐かしがりながら畳の上を這ってリハビリに励んだり、畳の上で横になっていたHさんは、気持ち良かったのかごろごろと転がって遊んだり、部屋で過ごす時間が多かったYさんは、みんなと一緒にリビングで過ごせるようになりました。そしてリビングには、以前よりも笑顔がふえました。ありがとうございました。



ひろがる、つながる笑顔

さざんかホール（地域生活支援課）課長

山崎 ふみ子

「おはようございます。さざんかホールです。」

デイサービスセンターの一日は、利用者のお迎えから始まります。利用者の方が車に乗り込めば、なごみの顔が笑顔で迎えてくれます。いつもの顔が見えないと「どこか体を悪くしたんだろうか」と心配気に尋ねては、思いやりが行きかいます。

デイサービスセンター さざんかホールは介護保険の指定施設です。さざんかホールには要介護認定を受けられた地域の高齢者が、毎日二十数名通われています。利用者、一人ひとりの心身の状態や特性に応じて、自立した生活が送れるよう入浴、排泄、食事等必要な援助を行うとともに、個別機能訓練や口腔ケアの実施、心と体の活性化を図るアクティビティサービスを提供しています。

利用者の方がデイサービスを利用するようになったきっかけは、それぞれ個人的な理由に違いがあります



が、多くは「自分で歩いていて、ふらついたり転んだり、移動することが不安定になってきたことがあげられます。そのため、安全に入浴したり、歩行力をつけるための生活リハビリは日々の中でも欠かせません。また、毎日のレクリエーションも心と体を動かす大事な役割をしています。利用者が楽しみにしておられるものに四季折々の行事があります。今回は四月の花見外出と五月の新緑外出の様子をお伝えしたいと思います。さざんかでは日々の利用者が入れ替わり違うことから行事を一週間続けて行っています。

四月の花見は桜の開花予想をみながら計画しました。ちょっと人混みを避けて『健康の森』へおやつを持って出かけました。（花より団子？）いよいよ、桜の花もしっかり満喫されてとても素敵な笑顔が一杯でした。桜のトンネルをくぐりながら、

「やっばい、さくらはいいの〜」

「さくらには日本人のこころやの」

「こないっぱいの花、はじめちゃ」

さくらには北陸の寒い冬を抜け出るあかしのようでした。そして五月、新緑がまばゆい季節です。新芽が大地から吹き出るエネルギーをもらいに出かけました。行先は『越前陶芸村』。新緑の中に身をおきな

がら、小鳥のさえずりと共に夢の音を合わせ、お抹茶を一服。ちよつと別世界気分です。ある利用者は藤棚の下から見える山々、そして遠くの青空を眺めてしみじみと、「とても気持ちがいい。来れてよかった。」と。また、ある利用者は「家族に今日のことを話したいから、陶芸村のことを教えてほしい。」「パンフレットがほしい。」「陶芸も見たい。」と意欲的に話しかけてくれました。

歩行力の低下とともに体を動かしたり、外出することが少なくなることは意欲低下につながります。さざんかでは利用者一人ひとりが意欲を持って日々を送れるよう、いろんな方面から支援していきたいと思っています。特にアクティビティでは五感をフルに活用できるようなことをこれからも計画していきます。

最後になりましたが、行事を実施していくうえでボランティアさんの力は欠かせません。今回もたくさんボランティアさんに支えられ、楽しく安全に外出ができました。ありがとうございました。そして

これからもよろしく願います。

さざんかでの笑顔が広がるように♡



第31回越前陶芸まつり に出店しました!

ライトワークセンター（セルプー課） 水島 憲一



今年も『越前陶芸まつり』が5月28日～30日の三日間、越前町（旧宮崎村）で開催され、私たちの陶芸ショップ『陶華星』は、『のぞみ焼き』という名前で出店させていただきました。

『陶華星』では年末まで干支の置物『夢卯』作りで大忙しでした。年が明けてすぐに、休む間もなくこの陶芸まつりに向けて作品や商品を製作してきました。私たち職員は利用者の頑張っている姿を目の当たりにしています。本当に皆さんは陶芸の仕事が大好きで、一つの作品にそそぎ込む情熱は計り知れません。どれをと



ってみても、高額の値段をつけてもおかしくない価値のあるものです。しかし、お客様の目は肥えておられ評価はとてもしビアです。自分達で作ったものをお客はどう感じ評価するのが、実際に触れ合っていることのできる貴重な時間でもあります。楽しみでもあり不安でもある緊張の時でした。

そんな緊張の中で迎えた『越前陶芸まつり』は三日間ともあいにくの荒天でした。特に二日目は強風による横殴りの雨が降る大荒れで、季節外れの台風2号による避難勧告が出されるほどこの『越前陶芸まつり』の歴史に残る大変な日になりました。そんな天候でも多くの方々が来られていました。多くの有名な作家さんが出店されている中で、私たち陶華星のブースにも足を運んでくださり本当に感謝、感激です。三日目には陶華星で働いている利用者が見学に来られました。その時、不思議な出来事が…、今までの天気嘘のように青空が出てきて日が差してきたのです。汗が吹き出るくらい暑くなり、よい天気の中でゆっくりと見学されました。自分たちの作った商品がお店に並んでいる様子や、その商品を実際にお客さんが手にとって買われている姿を見ておられるその時の笑顔はなんとも嬉しそうでした。自分の作品が評価される喜びは作った本人にしかわからないものです。だから陶芸はやりがいがあります。『それは私達が作った焼き物だよ。どんなもんだい』と目で訴えかけておられる感じがしました。どこか誇らしげで、幸せな気持ちが込み上げてきているのがわかりました。この喜びは、どんなに大変で忙しくても弱音を吐かず頑張ってきたことへのご褒美なのでしょう。そして、十分に『越前陶芸まつり』の雰囲気を楽しまれ、終始笑顔で会場をあとにされました。利用者が帰られた後、また雨が降ってきました。利用者の熱い想いと、陶芸を心から愛し大切にしている気持ちが雨雲を吹き飛ばしたのだと思いました。



またボランティアや地域の方々のご協力くださり、こうして出店できるのは皆様の支えがあればこそだと改めて感じられました。『越前陶芸まつり』は本当に楽しいイベントです。来年の出店に向けて、利用者と職員が力を合わせて頑張っていきたいと思います。ぜひ一度、私たちの仕事の成果を見にきて下さい。皆様のご来店を心からお待ちしております。

班活動について

ライトホープセンター（援護二課）

織田 三枝
小川 さおり



援護二課の利用者の日中活動プログラムとして、作業・運動・喫茶・入浴・学習・班活動・クラブ活動などがあります。その中でも、週二回の班活動では、七十八名の方が四つの班に分かれ、盛りだくさんの内容で、楽しい時間になるよう様々な活動をしています。

今回、その中の二つをご紹介したいと思います。まず、一つ目ですが、以前行事があった際、利用者が同じ朝日事業所内の施設であっても「こんなところがあったなんて初めて知ったわ」と言う声を聞き、朝日事業所内の施設を回って、利用者にライトホープセンター以外の光道園も知っていただこうということ、『スタンプラリー』を班活動として企画しました。援護二課に歩行訓練士がいることもあり、職員の手引き技術の向上も視野に入れた活動です。初めての試みでしたが、利用者からは、「いろいろなところがあるんやね、初めて知った」「お散歩みたいで楽しかった」「懐かしい職員と話が出来てよかった」等、嬉しい感想と共に、笑顔がたくさん見られました。

スタンプの代わりに、突起のあるシール数種類を準備し、用紙に貼ってもらったのですが、「アイスクリームがパフェのシール、どっちがいいですか？」等、楽しい会話をやりとりしながら、用紙の欄に全部シールが貼られると、指で確認して「全部の所へ



スタンプラリーで楽しい会話！

行ったんやな」と嬉しそうにされていました。何った先の課では、その課の特徴を聞かせていただくなど、どの課も大変親切に受け入れてくださり、うれしかったです。

二つ目ですが、「花セラピー」をお茶セラピーをさせていただきます。

花セラピーでは、技術的な「いけ花」をするのではなく、自由な発想で花を生けていきます。神が作った最高傑作といわれている花からは、大自然のパワーが充満しています。花を通して、自分の心と向き合い、花のエネルギーを借りつつ、前向きな気持ちへと変わっていくことを願っています。そして、「命」の大切さや自分を認め、他人を思いやる心が育つものと思われまます。

花の美しさを実際に目で見ることでできない利用者の方がほとんどですが、花を触ったり、匂いを感じたりして、花と対話して生けていただいています。生け終えた利用者の方の顔には、嬉しいいっぱい

笑顔が見られることもしばしばです。

また、お茶セラピーでは、利用者の皆さんに、お菓子を食べて抹茶を飲んでいただくわけですが、まずは、姿勢を正したご挨拶から入っていただきます。利用者の皆さんの、きりっとした顔がとてもさわやかです。茶道は、五感を全て使って体感していく芸術です。その意味では、リハビリ的要素もあります。また、季節に応じた名画のポスターを貼って、その説明をさせていただいております。見えていなくても、ご自分で想像を膨らまして楽しんでいらつしゃるように見受けられます。四百年の歴史を誇り、和敬静寂の精神を軸とした茶道に触れることにより、何よりも心が洗われ、相手を思いやる心が育まれる、と言われております。

これら二つのセラピーを通して、充実した楽しい毎日を送っていただけたら、との願いのもと取り組みさせていただいております。

今後も楽しい企画を考え、充実した班活動になるように、またそれが活気ある毎日や楽しみの多い生活につながるように、がんばっていききたいと思っております。



お茶セラピーでは姿勢正しくご挨拶から…



つつじマラソン劇場

～ I'll come back (戻って来る) ～

企画調整室 青山直人



突然ですが、『オリンピックで重要なことは、勝つことではなく、参加することである。人生で大切なことは、成功することではなく、努力することである』クーベルタン（フランスの男爵、近代オリンピックの創始者）の言葉をご存知でしょうか？

今回、私はつつじマラソン大会運営の係り（地域交流委員）として参加し、皆さんを応援させて頂きました。つつじマラソンに参加されていた利用者の皆さんを応援しながら、この冒頭の言葉が頭をよぎりました。ご存知の通り、つつじマラソンはオリンピックではありません。しかし、参加された皆さんには、それぞれ、色々な想い（健康の為、走る事が好き、マラソンが終わってからのご飯が楽しみ、『I LOVE 鯖江』）想いはそれぞれですが、皆さん参加する為に、1ヶ月前から練習をし、本番を迎えました。

開会式時には、雨が降っていましたが、スタート時には、天気も回復し、光道園の皆さんが参加されるファミリーの部（2キロ）のスタート号砲が鳴り響きました。つつじマラソン劇場の開演です。

主演の利用者・伴走者の皆さんは、元気に走りだし、時には沿道の声援に応える余裕を見せながら、鯖江市陸上競技場を後にしました。沿道からの声援が、力となり自然といつもの倍のスピードで走っている人もいました。しかし、マラソンは筋書きのないドラマです。2キロのコース中には、山あり、谷ありなドラマがあります。2キロ中で、主演の皆さんはそれぞれ様々なドラマを演じ、沿道の皆さんに感動を与えながら、鯖江陸上競技場に戻ってきました。行きに見られた余裕の表情は消え、皆、真剣なランナーとして。怪我なく、リタイヤする事なく、無事、完走し鯖江陸上競技場に戻ってきました。



冒頭の言葉に戻りますが、自分なりの目標や目的をもって参加し、努力することはとても大事な事だと思えます。皆さん、この大会に参加し、それぞれに目標を達成し大きな『幸せ』を得ることが出来たと思えます。順位や結果は、関係なく自分なりに一所懸命にやったのなら、「よくやった」と充実感を感じられるはず。皆さんは、結果よりもこの『充実感』『幸せ』を感じる為に、この大会に毎年参加されているのではないかと感じました。

競技を終えて、皆さん、充実感に満ち、また来年、聖地『アテネ』ではなく『鯖江陸上競技場』に戻ってくると言わんばかりの後姿を残し、マイクロバスに乗りこみました。I'll come back・・・。



のぞみ工房 陶華星

今年も暑い季節がやってまいりました。のぞみ工房『陶華星』では、手づくりで焼酎カップとビアカップを製造しています。このカップでお酒をぐいっと!! 夏の暑さを吹き飛ばしてみませんか。スタッフ一同、皆様のご来店をお待ちしています。

〒916-8585 鯖江市和田町9-1-1 光道園ライトワークセンター内「陶華星」
TEL : 0778-62-8103 FAX : 0778-62-3775



平成二十三年三月～六月採用

新任職員の紹介

- ★氏名 ①血液型 ②趣味
③印象的な映画

鯖江事業所

セルプ一課

★大久保祐香

- ①A型 ②シグソーパズル
③アニメ(ディズニー)

療護一課

★岩淵 心

- ①O型 ②観光地巡り、スノーボード、車
③『仁義なき戦い』

★岩尾 優

- ①O型 ②友達と語り
③ジブリ、『名探偵コナン』、『ハリーポッター』

療護一課

★笠原沙織

- ①O型 ②映画を見ること
③ディズニーの映画

★木下紗希

- ①A型
②読書(マンガ、ホラー、SF等)
③ジブリ

★水上真衣

- ①O型 ②音楽鑑賞、DVD鑑賞
③ジブリ

朝日事業所

セルプ二課

★岸本琢磨

- ①AB型 ②ゲーム
③『となりのトトロ』

援護一課

★小柳玲奈

- ①B型 ②音楽鑑賞
③『ウサビッチ』

援護一課

★時田 瑛

- ①A型 ②読書、音楽を聴くこと
③細田守版『時をかける少女』、初期のジブリ映画

★寺敷水希

- ①B型 ②ホッケー、音楽鑑賞
③『デスノート』

高齢福祉一課

★中澤由美子

- ①AB型 ②買い物、食べること
③『ゴジップガール』

★林 実穂

- ①B型
②わいわいすること、自然とたわむれる
③洋画

★森下茉美

- ①A型 ②BIG BANG、水翔太のPVを見ること(SOL)
③『シユレック』

★清水さなえ

- ①A型 ②読書、音楽鑑賞
③『風の谷のナウシカ』

地域生活支援課

★森田正美

- ①B型 ②映画鑑賞
③邦画全般、『アマルフィー』

生活機能支援室

★佐々木莉美

- ①A型 ②映画を見ること
③『スマイル』



新任職員研修の感想

「利用者の方と接する場合には、自分が絶対的に優位の立場で判断していいのか、自分の都合、価値観を利用者さんに押し付けていないかなど、その人の立場になって考えることが大切なんだと思いました。」

「利用者の立場に立ってその人らしく、その人のペースで、その人の能力を最大限に発揮できるよう寄り添っていくことや、利用者の小さな変化(しぐさや行動から)にどれだけ気づき本当の思いを感じること出来るかが大切だとわかりました。」

フ・クレール

いつも ご利用いただきありがとうございます

口コミで大人気のグラハム食パン



1斤 500円

おいしい食べ方

この食パンを食べ始めて2年経ちます。いろいろなパン屋さんで食パンを買ってみますが、やはりこの食パンが一番となります。バタートーストにはあまり向かなくて毎朝のサラダやハムなどを少し焼いてオープンサンドにすると朝から活力がわいて思わず「おいしい!」という声が出ます。一度試してみてください!

大人気 チーズケーキ(150円 1,000円) ハートのブラウニー(130円・150円) などご注文お待ちしております

またご結婚・法事等のお使い物にもご利用いただけますので、ご相談ください。

販売所にて
お待ちいたしております!
通所の方も増え販売
コスチュームも新しく
なりました。



丹生郡越前町朝日 22-2-2
光道園 光が丘ワークセンター
フ・クレール
電話 0778-34-2121
FAX 0778-34-8005

情報開示 社会福祉法人 光道園

貸借対照表 平成23年3月31日現在

(単位：千円)

勘定科目	当年度末	前年度末	増 減	勘定科目	当年度末	前年度末	増 減
資産の部				負債の部			
流動資産	1,293,162	1,700,727	△ 407,565	流動負債	172,671	651,444	△ 478,773
現金預金	893,429	1,058,549	△ 165,120	未払金	142,958	623,457	△ 480,499
未収金	397,439	640,545	△ 243,106	預り金	23,461	24,240	△ 779
仮払金	44	0	44	仮受金	535	773	△ 238
売掛金	1,086	1,103	△ 17	買掛金	5,717	2,974	2,743
商品・製品	446	23	423	固定負債	281,800	299,954	△ 18,154
仕掛品	11	0	11				
原材料	707	507	200	設備資金借入金	190,000	212,500	△ 22,500
固定資産（基本財産）	3,853,229	4,016,480	△ 163,251	退職給与引当金	91,800	87,454	4,346
建物（基本）	3,651,305	3,814,556	△ 163,251	負債合計	454,471	951,398	△ 496,927
土地（基本）	201,924	201,924	0	純資産の部			
その他の固定資産	587,291	464,818	122,473	基本金	969,413	969,413	0
土地	18,160	18,160	0	基本金	969,413	969,413	0
建物	1	1	0	国庫補助金等特別積立金	1,781,294	1,869,255	△ 87,961
構築物	78,951	81,255	△ 2,304	国庫補助金等特別積立金	1,781,294	1,869,255	△ 87,961
機械及び装置	4,551	5,731	△ 1,180	その他の積立金	250,800	131,281	119,519
車両運搬具	7,695	3,739	3,956	建設積立金	247,000	127,931	119,069
器具及び備品	79,193	86,235	△ 7,042	役員退職謝金準備積立金	3,800	3,350	450
建設仮勘定	4,515	0	4,515	～次期繰越活動収支差額～	2,277,704	2,260,678	17,026
ソフトウェア	1,505	812	693	～うち当期活動収支差額～	136,545	140,651	△ 4,106
投資有価証券	50,120	50,150	△ 30				0
本部積立預金	250,800	131,281	119,519				0
その他の固定資産	91,800	87,454	4,346	純資産合計	5,279,211	5,230,627	31,558
資産合計	5,733,681	6,182,025	△ 448,344	負債・純資産合計	5,733,681	6,182,025	△ 448,344

〔脚注〕減価償却費の累計額

1,821,698 千円

役員名簿

平成23年4月1日現在

理事長	関 捨男	常務理事	荒木 博文	理 事	松山 幸雄
理 事	角 佳津見	理 事	山内 進	理 事	木村 良平
理 事	齋藤 邦雄	理 事	土肥 芳一	理 事	藤本 武司
理 事	渡辺 恭行	監 事	孝久 忠央	監 事	春木 誠一

評議員名簿

平成23年4月1日現在

評議員	関 捨男	評議員	荒木 博文	評議員	松山 幸雄
評議員	角 佳津見	評議員	山内 進	評議員	木村 良平
評議員	齋藤 邦雄	評議員	土肥 芳一	評議員	藤本 武司
評議員	渡辺 恭行	評議員	松木 健一	評議員	矢納 正人
評議員	熊谷 忠男	評議員	渡辺 恵	評議員	小野 和男
評議員	田中 伸幸	評議員	岩尾多希子	評議員	中山 集次
評議員	江守 勝	評議員	吉田 龍雄	評議員	鎌谷美智子



財産目録

平成23年3月31日現在

(単位：千円)

資産・負債の内容	金 額
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	893,428
仮払金	44
売掛金	1,086
商品・製品	446
仕掛品	11
原材料	707
未収金	397,439
流動資産 合計	1,293,161
2. 固定資産	
(1) 基本財産	
建物	3,651,306
土地	201,924
基本財産 合計	3,853,230
(2) その他の固定資産	
土地	18,160
建物	1
構築物	78,951
機械及び装置	4,551
車両運搬具	7,695
器具及び備品	79,193
建設仮勘定	4,515
ソフトウェア	1,505
投資有価証券	50,120
本部積立預金	250,800
その他の固定資産	91,800
その他の固定資産 合計	587,291
固定資産 合計	4,440,521
資産合計	5,733,682
II 負債の部	
1. 流動負債	
買掛金	5,717
未払金	142,958
預り金	23,461
仮受金	535
流動負債 合計	172,671
2. 固定負債	
設備資金借入金	190,000
退職給与引当金	91,800
固定負債 合計	281,800
負債合計	454,471
差引純資産	5,279,210

資金収支計算書

平成 23 年 3 月 31 日現在

(単位：千円)

科目名	本年度予算額	本年度決算額	差異
(就労支援事業活動による収支)			
就労支援事業収入	27,100	28,995	△ 1,895
就労支援事業活動収入計	27,100	28,995	△ 1,895
就労支援事業支出	26,270	26,253	17
就労支援事業活動支出計	26,270	26,253	17
就労支援事業活動資金収支差額	830	2,742	△ 1,912
(福祉事業活動による収支)			
介護保険収入	511,770	514,487	△ 2,717
利用料収入	390	415	△ 25
措置費収入	260,610	260,694	△ 84
受託金収入	10,540	10,818	△ 278
自立支援費等収入	1,538,820	1,541,633	△ 2,813
経常経費補助金収入	51,050	51,311	△ 261
寄附金収入	17,530	17,680	△ 150
雑収入	38,510	36,975	1,535
受取利息配当金収入	1,130	1,185	△ 55
会計単位間繰入金収入	38,010	38,000	10
経理区分間繰入金収入	127,570	126,054	1,516
福祉事業活動収入計	2,595,930	2,599,252	△ 3,322
人件費支出	1,552,290	1,549,879	2,411
事務費支出	263,390	258,687	4,703
事業費支出	397,620	392,805	4,815
経理区分間繰入金支出	129,010	126,054	2,956
会計単位間繰入金支出	38,010	38,000	10
利用者負担軽減額	40	0	40
福祉事業活動支出計	2,380,360	2,365,425	14,935
福祉事業活動資金収支差額	215,570	233,827	△ 18,257
(施設整備等による収支)			
施設整備等補助金収入	2,780	2,740	40
施設整備等寄附金収入	6,200	6,200	0
施設整備等収入計	8,980	8,940	40
固定資産取得支出	28,990	28,600	390
施設整備等支出計	28,990	28,600	390
施設整備等資金収支差額	△ 20,010	△ 19,660	△ 350
(財務活動による収支)			
投資有価証券売却収入	0	30	△ 30
積立預金取崩収入	10	0	10
その他の収入	6,010	7,008	△ 998
財務収入計	6,020	7,038	△ 1,018
借入金元金償還金支出	22,500	22,500	0
投資有価証券取得支出	10	0	10
積立預金積立支出	119,560	119,519	41
その他の支出	11,530	11,354	176
財務支出計	153,600	153,373	227
財務活動資金収支差額	△ 147,580	△ 146,335	△ 1,245
予備費	50,110	0	50,110
当期資金収支差額合計	△ 1,300	70,573	△ 71,873

事業活動収支計算書

(自) 平成 22 年 4 月 1 日 (至) 平成 23 年 3 月 31 日

(単位：千円)

勘定科目	本年度決算	前年度決算	増減
(就労支援事業活動収支の部)			
就労支援事業収入	28,995	26,488	2,507
就労支援事業活動収入計	28,995	26,488	2,507
就労支援事業支出	26,783	27,650	△ 867
就労支援事業活動支出計	26,783	27,650	△ 867
就労支援事業活動収支差額	2,212	△ 1,162	3,374
(福祉事業活動収支の部)			
介護保険収入	514,487	518,194	△ 3,707
利用料収入	415	162	253
措置費収入	260,694	254,848	5,846
受託金収入	10,818	8,559	2,259
自立支援費等収入	1,541,633	1,529,216	12,417
養成研修事業収入	0	0	0
経常経費補助金収入	51,311	33,400	17,911
寄附金収入	17,680	28,198	△ 10,518
雑収入	36,975	19,748	17,227
引当金戻入	7,008	2,737	4,271
国庫補助金等特別積立金取崩額	90,306	79,354	10,952
福祉事業活動収入計	2,531,327	2,474,416	56,911
人件費支出	1,549,879	1,443,763	106,116
事務費支出	258,687	293,998	△ 35,311
事業費支出	392,805	385,009	7,796
減価償却費	191,653	177,640	14,013
引当金繰入	11,354	10,535	819
利用者負担軽減額	0	0	0
福祉事業活動支出計	2,404,378	2,310,945	93,433
福祉事業活動収支差額	126,949	163,471	△ 36,522
(事業活動外収支の部)			
受取利息配当金収入	1,185	3,508	△ 2,323
会計単位間繰入金収入	38,000	63,000	△ 25,000
経理区分間繰入金収入	126,054	264,773	△ 138,719
事業活動外収入計	165,239	331,281	△ 166,042
会計単位間繰入金支出	38,000	63,000	△ 25,000
経理区分間繰入金支出	126,054	264,773	△ 138,719
事業活動外支出計	164,054	327,773	△ 163,719
事業活動外収支差額	1,185	3,508	△ 2,323
経常収支差額	130,346	165,817	△ 35,471
(特別収支の部)			
固定資産受贈額	0	798,841	△ 798,841
施設整備等補助金収入	2,740	269,740	△ 267,000
施設整備等寄附金収入	6,200	0	6,200
国庫補助金等特別積立金取崩額	0	7,364	△ 7,364
特別収入計	8,940	1,075,945	△ 1,067,005
固定資産売却原価・処分損	0	831,371	△ 831,371
国庫補助金等特別積立金積立額	2,740	269,740	△ 267,000
特別支出計	2,740	1,101,111	△ 1,098,371
特別収支差額	6,200	△ 25,166	31,366
当期活動収支差額	136,546	140,651	△ 4,105
(繰越活動収支差額の部)			
前期繰越活動収支差額	2,260,678	1,627,126	633,552
当期末繰越活動収支差額	2,397,223	1,767,777	629,446
その他の積立金取崩額	0	593,069	△ 593,069
その他の積立金積立額	119,519	100,167	19,352
次期繰越活動収支差額	2,277,704	2,260,678	17,026

苦情受付、ヒヤリハット・事故報告状況

苦情解決申出人別分類表 (過去 3 年間)

	20 年度	21 年度	22 年度
利用者	26	20	17
家族	8	24	8
職員	2	1	1
ボランティア	0	2	0
業者	0	1	1
関係者	0	1	0
地域の方	0	0	1
計	36 件	49 件	28 件

平成 22 年度ヒヤリハット・事故 施設 (課・室) 別集計表 (種別上位)

	転倒	投葉ミス	滑落	転落	他傷
ライフ	17	26	7	4	15
ホープ	7	2	3	1	3
ワーク	7	6	0	2	0
光ワーク	7	0	0	0	0
第一・二光ハウス	6	3	0	0	0
第三光ハウス	46	13	14	12	2
地域生活支援課	8	3	0	0	0
生活機能支援室	3	0	0	0	0
計	101 件	53 件	24 件	19 件	20 件

当園における苦情受付状況は平成 12 年 6 月 1 日の社会福祉法の一部改正に伴う第 82 条の規定により、平成 12 年 9 月 18 日に苦情受付窓口を設け、各施設に責任者・受付担当者に加え第三者を委嘱し体制を整え、平成 17 年 4 月 1 日には園内の苦情解決取扱規定、苦情及び事故対応における手順者とフローチャートを設け利用者等に周知し、体制の強化を図ってまいりました。

平成 22 年度は法人全体で 28 件(昨年度比 21 件減)の報告がありました。年度末には苦情解決第三者委員会を開催し、助言や苦情解決への改善、評価、解決方法などを検討し、同様の再発防止とおよび啓発につとめています。

一方、ヒヤリハット・事故報告は、平成 16 年より施設事故予防対策委員会を設け、利用者の安全な生活環境を目指して、重大事故予防の為の事例の検討と対策、職員の事故予防に対する意識高揚に努めています。平成 22 年度は 320 件(昨年度比 11 件減)の報告がありました。

いずれも当園ホームページに情報公開しております。URL <http://kodoen.or.jp>



光が丘ワークセンター

(財) JKA 様による補助事業決定

光が丘ワークセンターは、昭和56年5月に開設いたしました。
 今日までの長い歴史を重ねた事で屋上の防水シートが劣化して、雨漏れの発生が懸念されるようになり、早急な防水補修工事が必要となってきました。
 今回、財団法人 JKA 様のご助成を受けて8月に補修工事を実施する予定です。



社会福祉法人 光道園の施設				養護老人ホーム・第一光が丘ハウス 丹生郡越前町朝日 22-7-1	
社会福祉法人 光道園 法人本部	鯖江市和田町 9-1-1	特別養護老人ホーム・第二光が丘ハウス	丹生郡越前町朝日 22-7-1	特別養護老人ホーム・第三光が丘ハウス	丹生郡越前町朝日 22-7-1
障害者支援施設・ライトワークセンター	鯖江市和田町 9-1-1	通所介護事業所・デイサービスセンター・さざんかホール	丹生郡越前町朝日 22-7-1	訪問介護事業所・ヘルプステーションさざんか	丹生郡越前町朝日 22-7-1
障害者支援施設・光が丘ワークセンター	丹生郡越前町朝日 22-2-2	居宅介護支援事業所・さざんかホール	丹生郡越前町朝日 22-7-1	越前町障害者支援センター・さざんか	丹生郡越前町朝日 22-7-1
障害者支援施設・ライトホープセンター	丹生郡越前町朝日 22-3-1	障害者支援センター・こうどうえん	鯖江市和田町 9-1-1		
障害者支援施設・ライフトレーニングセンター	鯖江市和田町 9-1-1				
日中生活介護事業・たねのいえ	鯖江市和田町 9-1-1				